

指導教員所見

		西暦	年	月	日	作成
学校名	学生氏名	学生番号	入学年月日			

指導教員氏名 _____ 印

貴校よりご受験いただく学生さまについて、日頃ご指導いただいている先生方より、【日本語能力】および【学習態度】について、下記の項目に基づき評価をお願い致します。

なお、ご提出いただいた所見は、本学の入試選考及び入学後の学生指導に使用し、それ以外の目的には使用致しません。

【日本語能力】 下記 1～4 の項目につき、学生さまが該当する項目の□にチェックしていただいた上で、A～D のうち能力に近いもののいずれかに○をお付けください。

1. 大学での学習に必要な日本語能力～読むこと () A () B () C () D

A	☐ 中級読解教材を独力で読む際、未知の漢字・語彙・文法が多く、十分に理解できない。 ☐ 天気予報、広告、パンフレットなど、身の回りの日本語資料の内容はある程度理解できる。 ☐ 新聞の記事を独力で最後まで読むことは難しいが、見出しを読んでほしいの内容をつかむことはできる。
B	☐ 中級読解教材を独力で読む際、未知の漢字・語彙・文法が一部あり、十分理解できないことがたまにある。 ☐ 天気予報、広告、パンフレットなど、身の回りの日本語資料から必要な情報が得られる。 ☐ 新聞・雑誌記事などの、少し長く専門性のある文章は、自分の興味のあるテーマであれば、ほしいの内容を理解できる。
C	☐ 中級読解教材を独力で読む際、未知の漢字・語彙・文法はほとんどない。 ☐ 上級読解教材や、新聞・ネット記事などを読むとき、知らない漢字や言葉がある。 ☐ 自分の興味のある文の内容のほか、あまりよく知らないテーマの文も、内容はよくわからないことがあっても、読んで情報を取ってみようとする。
D	☐ 日本語教材を読むとき、漢字・言葉・文法がわからないことはほとんどない。 ☐ 新聞・ネット記事などを読むとき、知らない漢字や言葉がときどきある。 ☐ 知らない言葉や漢字があっても、文全体のほしいの意味を読み取れる。 ☐ 科学技術、経済・法律・政治などの専門分野の、長い記事や書籍中の文章の 1 章を最後まで読んだことがある。

2. 大学での学習に必要な日本語能力～聞くこと () A () B () C () D

A	☐ 日本語中級の聴解教材を使った、1～2分程度の短いニュースや日本人の話の聴解の際、語彙などの断片的な情報はとれるが、ほしいの内容をつかめないことが多い。 ☐ 日本語の先生方がクラス内で話すことは、ほぼ理解できる。 ☐ 一般の日本人に、必要な情報を質問したり、説明を聞いたりするとき、理解できず困ったり、自信がないため避けることが多い。 ☐ テレビで、天気予報やニュースなどの短いものは、映像があればほしいの意味がわかる。
---	--

B	☐ 日本語中級の聴解教材を使った、1～2分程度の短いニュースや日本人の話の聴解の際、だいたいの内容をつかめるが、細かい点は聞き落とすことがある。 ☐ 3分程度の少し長い話や、自分のよく知らないテーマの話を書くときは、だいたいの内容がつかめないことがある。 ☐ 日本語の先生方がクラスの中で話すことは問題なく聞き取れる。 ☐ 一般の日本人に、必要な情報を質問したり、説明を聞いたりすることには慣れているが、内容を聞き誤ることはある。
C	☐ 日本語中級の聴解教材を使った、1～2分程度の短いニュースや日本人の話の聴解の際、ほぼ問題なく内容がつかめる。 ☐ 日常生活の中で、テレビニュースなどの2～3分の短い話を聞く際、自分のよく知らないテーマの話でもだいたいの内容がつかめる。 ☐ アルバイトや授業などで、5～15分ぐらいの長い説明や講義などを聞いて、説明の通りに働いたり、メモを取ったりすることは、正確ではないかもしれないが、できる。
D	☐ 大学などの講義や、テレビ番組などで、少し専門的なニュースや説明などを聞く際、15～30分ぐらいであれば、だいたいの内容がわかる。 ☐ 話の内容を忘れないように、メモを取ることに慣れている。 ☐ アルバイトや授業などで、日本人から話を聞く際、もしわからないことがあっても、自分から補足の質問をし、理解に努めることができる。

3. 大学での学習に必要な日本語能力～書くこと () A () B () C () D

A	☐ 日本語学習経験の中で、説明や意見述べるための作文の練習をしたことがほとんどない。 ☐ 「しかし」「また」「だから」などの書き言葉の基本的な接続詞を使い方を知っている。 ☐ 文をいくつも続けて、個人的な感想や日記などを書くことができる。 ☐ 文を段落に分けて整理して書くことについてまだ十分学習していない。
B	☐ 日本語学習経験の中で、説明や意見述べるための作文の練習をある程度したことがある。 ☐ 「しかし」「また」「だから」などの書き言葉の基本的な接続詞を使って、3～400字の作文を独力で書くことができる。 ☐ 文を段落に分けて整理した書いた方がいいことを知っており、3～4段落に分けた作文を独力で書くことができる。 ☐ 段落を作るだけでなく、段落ごとに内容を整理し、接続詞を使ってわかりやすい構成の文を書くことは、独力ではまだ難しい。
C	☐ 日本語学習経験の中で、説明や意見述べるための作文の練習を十分にすることがある。 ☐ 「しかし」「また」「一方」「そのため」「ただし」「まず」などの書き言葉の接続詞を、作文の中で正しく使うことができる。 ☐ わかりやすい説明文や意見文を書くために、独力で段落に分けて書くことができる。 ☐ 意見を述べるための、「～のではないだろうか」「と考えられる」などの書き言葉の文末表現を勉強したことがあり、正しくはないかもしれないが独力で使うこともできる。

D	☐ 説明文、意見文、レポートなどを日本語で何度も書いたことがある。 ☐ 「しかし」「また」「一方」「そのため」「ただし」「まず」などの書き言葉の接続詞、「～のではないだろうか」「と考えられる」などの書き言葉の文末表現は、既に学習し、ある程度正しく使うことができる。 ☐ これらのものを使って、A4 で 1～2 ページの作文やレポートを書いたことがある。 ☐ 作文の読みやすさ、文法などの正確さなどを自分で推敲することについては、まだ十分できない。
---	--

4. 社会的な活動に必要な日本語能力 () A () B () C () D

A	☐ 日本での日常生活の中で、駅やスーパーなどでの短い放送を聞くと、言葉を断片的に聞き取ることはできる。全体的内容はつかめないことがある。 ☐ 電車、買い物、役所での手続きなどのとき、インターネットやパンフレットなどの中の知っている言葉を読んでみることができるが、ほしい情報を見つけられないことがある。 ☐ 日本語の先生方と話すことはできる。アルバイトや家の近くなどで会う一般の日本人と二人で話すとき、あいさつ、簡単なやりとりはできる。 ☐ 身近な一般の日本人に、詳しい説明をしたり、自分の気持ちや意見などを言いたいとき、うまく伝えられず、話すことをあきらめることが多い。 ☐ 日本人と話すとき、話が途中で止まってしまうことがある。
B	☐ 駅やスーパーの中などの短い放送の内容はだいたいつかめる。 ☐ 電車、買い物、役所での手続きなどのとき、インターネットやパンフレットなどの日本語の情報から、自分がほしい最低限の情報を探し出すことができる。 ☐ 身近な日本人と二人で話すとき、正しくは話せないかもしれないが、相手が親切でゆっくり話を聞いてくれば、お互いにだいたいわかりあえる。 ☐ よく知らない人と話す際には、わかってもらえるかどうか、不安なことが多い。 ☐ 身近な人と話すとき、謝ったり、意見を言ったり、新しいやりかたを提案したりすることができる。 ☐ 日本のテレビドラマを見ることもあるが、日本語だけでは詳しい内容がまだよくつかめない。
C	☐ 駅・スーパーの中などでの放送の内容は十分わかる。 ☐ 郵便局や銀行などで、少し複雑なお願いをするとき、正しく丁寧に話すことはできないが、自分の言いたいことを伝え、目的を達成することができる。 ☐ 日本人と話し合うとき、間違えたり、わからなかったりすることがあっても、自分で質問したり言い直したりして、お互いに分かり合えるようにすることができる。 ☐ よく知らない人と話すのに、あまり心配はない。 ☐ 言い方が正しいかどうかわからなくても、まず言ってみて、日本人に直してもらえる。 ☐ 日本のテレビドラマを見ることもあり、だいたいの内容がわかる。

D	□ 駅・スーパー・店など、毎日の生活の中で行く場所で聞こえる放送は、ほぼ聞き取れる。 □ 初めてする手続きや、知らないニュース・場所などについて、インターネットやパンフレットなどを使って自分で調べることができる。 □ 役所、銀行、アルバイト先の人と、自分の問題について説明したり、どうしたらいいか話し合っ解決したりした経験が何度もある。 □ よく知らない日本人に話すとき、わからないことがあっても、質問したり確認したりすればいいので、あまり不安がない。 □ よく知らない人には丁寧に説明したり、よく知っている人にはすこし親しく話したりと、相手によって話し方を変えることができる。 □ 日本語で会議の司会をしたり、大勢で話すときに意見をまとめたりすることができる。
---	---

【学習態度】 本学では、将来、大きく成長する可能性のある学生は、学習姿勢や生活習慣に関する下記の 11 の要素を一定程度備えていると考えます。貴校よりご推薦いただく学生さまについて、日頃ご指導されている先生方より、各項目につき 4～1 のいずれかの評価をお願い致します。また、その評価の裏付けとなるような、学生の行動の具体例などがあれば、所見欄にご記入ください。

1	【留学に対する意欲】日本留学の動機や目的がはっきりしており、自分の留学を成功させようという意欲がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
2	【指導の受け入れ】自分に対する指導は自分の成長にとってプラスになるものと受け止め、これに耳を傾け、自分の学習方略や生活態度などを少しでも改善しようと努力する姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
3	【他者に配慮する】学習のために、自分だけでなく他の学生の学習環境を守ることが必要であるということを理解し、他の学生の学習を妨げる行動をしない。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
4	【協力】学校の授業、学習環境の保持、課外活動など、自分が属する組織の運営に、その一員として協力する姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
5	【新しいものへの姿勢】未知の知識、文化、習慣、日本人や外国人など、新しいものに対するオープンな姿勢があり、これに関心を持ち、進んで受け込んだり、これを自分に取り込もうとしたりする。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
6	【計画性】自分の将来について考え、将来を良くするため、経費支弁なども含めた計画を立て、それに沿って行動しようとする姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
7	【自助】自らの成長のためには、人に頼らず自分で努力することが必要であることを理解し、できるだけ自力でやってみようとする姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意

8	【周囲への関わりの意識】社会の中で自分がいろいろな人に関わっていることを意識し、目上の人や周囲の人に対して礼儀正しく振る舞おうという意識、自分の行動が周囲の人に影響を与えるという感覚、自分を援助してくれる人たちに対して感謝する姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
9	【努力の価値の理解】成長のためには努力が必要であることを知っていて、自らの成長や未来のために少しずつ努力しようとする姿勢がある。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
10	【ルールを守ること】期日、約束、締切りなど、学校や社会のルール、制度や仕組みに関心を持ち、これに沿って行動することが自分にとってプラスになると理解し、進んで守ろうとする。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意
11	【社会性】新しい環境の中で友達、知人、支援者を作り、良い関係を維持し、困ったときに相互に助け合う関係を築くことができる。	1 強く不同意	2 やや不同意	3 やや同意	4 強く同意

集計 点数をつけた項目の数をご記入ください。 1 () 2 () 3 () 4 ()

【学習態度】項目1～11の評定について、その評定の根拠となる、学生の学習態度や生活習慣上の具体的な事例を必ずご記入ください。用紙を追加していただいてもかまいません。項目 __ :

項目 __ :

項目 __ :

項目 __ :